

指数テーブル使用方法

6. 運転支援システム再設定・調整指数

6-1. 運転支援システム再設定・調整指数とは

(1) 運転支援システム再設定・調整指数の提供形態

新設する運転支援システム再設定・調整指数は、現在発表している脱着・取替指数や補修塗装指数と同様に、車種別編指数テーブルとして提供しています。

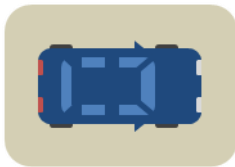
また、作業項目は、事故車修理の作業範囲に合わせて選択できる様に、センサ毎に設定しています。

(2) 指数を提供するセンサの種類

指数を提供しているセンサの種類は、A100 全方位モニタ、A110 超音波センサ、A120 前方カメラ、A130 前方レーダ、A140 側方レーダ（図1）の5種類です。

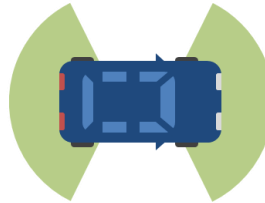
A100 全方位モニタ

- 駐車支援システム



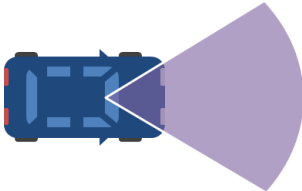
A110 超音波センサ

- 駐車支援システム
- 誤発進抑制システム



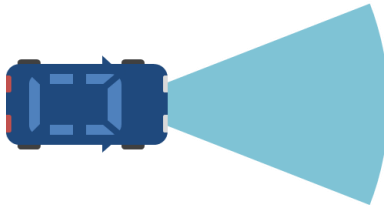
A120 前方カメラ

- 衝突被害軽減ブレーキシステム
- 車間距離制御システム



A130 前方レーダ

- 衝突被害軽減ブレーキシステム
- 車間距離制御システム



A140 側方レーダ

- 死角情報支援システム

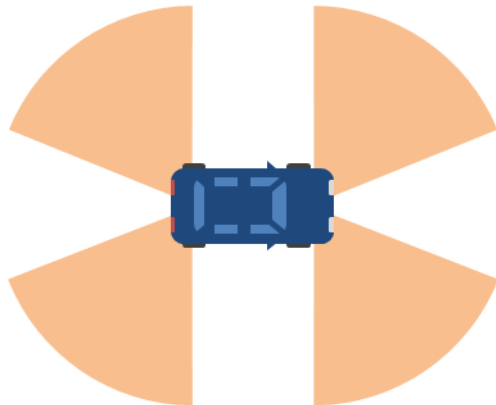


図1 提供するセンサの種類

(3) 運転支援システム再設定・調整指数が想定している作業のタイミング

運転支援システム再設定・調整指数は、板金修正作業や脱着・取替作業、補修塗装作業といった復元修理作業と、出庫前の完成検査作業の間に行う作業を想定しています。(図2)

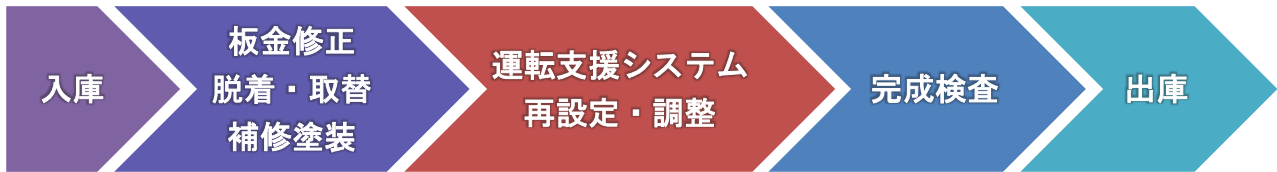


図2 運転支援システム再設定・調整指数の作業タイミング

(4) 運転支援システム再設定・調整指数の概要

運転支援システム再設定・調整指数は、脱着・取替指数や補修塗装指数と同様に、車種別編指数テーブルとして提供しています。

運転支援システム再設定・調整指数は、運転支援システムに関わるセンサ（超音波センサやカメラ）の脱着または取替およびセンサ取付部位の修理を行った際に発生する再設定・調整作業に適用する指数です。

指数の前提条件

- 作業者
実務経験3年程度の技能、運転支援システム再設定・調整作業の知識を有し、当該作業について経験があり、作業手順・作業方法を理解している者
- 対象車両
事故車の復元修理作業が完了し、完成検査前の車両
- 機器・工具
自動車メーカーの純正または推奨の機器・工具
- 作業方法
再設定・調整作業エリアに車両および機器、工具を搬入し、原則として、自動車メーカーの指示・手順に則った運転支援システムの再設定・調整作業
- 作業環境
走行を伴う再設定・調整作業は、原則として自動車メーカーの指示に則り、天候が晴れまたは薄曇りの日中に行う作業